

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会(KISA)は鹿児島県のIT産業を代表する団体で、「より早い、より正確な、よりわかりやすい情報伝達による地域情報化」に取り組んでいます。

表紙フォトコンテスト

テーマ

コロナに負けるな!
 ~がんばろう 鹿児島~



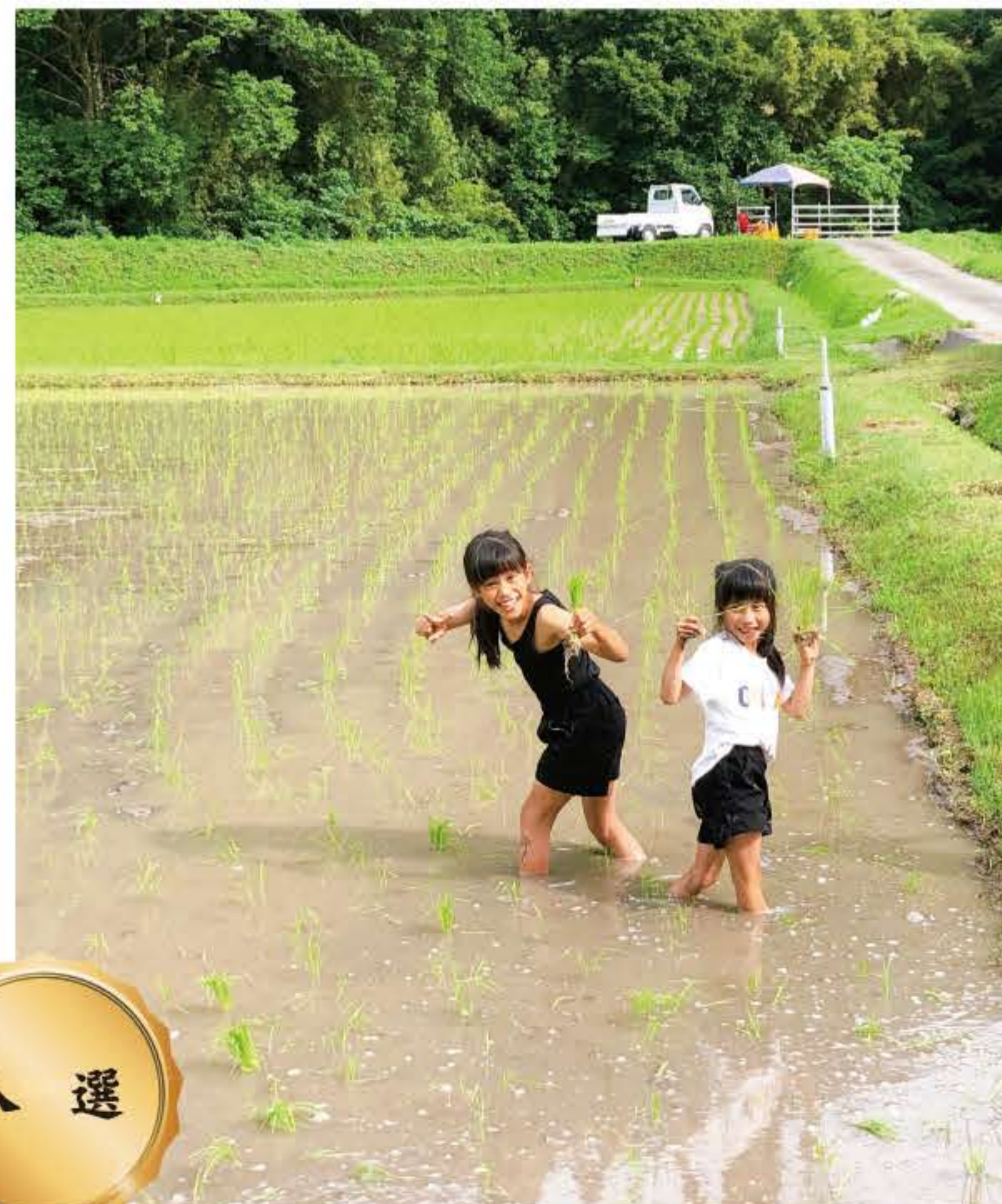
最優秀賞

リコージャパン株式会社 高代 恭子 様 コロナと暑さに負けずトレーニングに励むアスリート仲間たちです。



優秀賞

アジア印刷株式会社
 木佐貫 剛 様
 最近各所で見かけるデザインですが、ホテルも苦しい中で街を元気にしたいと言う意気込みには頭が下がります。



入選

ダイワボウ情報システム株式会社
 瀬川 紗由里 様
 泥まみれでも虫や微生物に恐れない子供たちを見て、コロナに負けてられないなと元気をもらいました。



入選

南国システムサービス株式会社
 堂園 一広 様
 新型コロナウイルス感染症に鹿児島が一つになって立ち向かおうという強い意志を表示したいと思い出展しました。

Contents

令和2年度定時総会のご報告
 新会長就任あいさつ
 新副会長就任あいさつ

②

新任理事就任あいさつ
 IoT・AI 等高度情報技術者育成支援事業のお知らせ

③

KISA 会員向け新入社員研修の開催
 知的財産権トラブルへの対応講座のお知らせ
 広報研修委員会の紹介

④

KISA 介護セミナー
 KISA 親睦ゴルフコンペ
 総務企画委員会の紹介

⑤

公共部会活動報告
 教育部会活動報告
 表紙フォトコンテスト

⑥

会員名簿
 新入会員の紹介
 編集後記

⑦

⑧

令和2年度 定時総会のご報告

日時:令和2年5月18日(月)16時

令和2年度定時総会が、マリパレスかごしまで開催されました。

正会員総数60社:出席会社57社(うち委任状提出26社)

【議案審議】

第1号議案:令和元年度事業報告および収支決算の件

事務局、総務企画委員会、広報研修委員会、対外部局(公共部会、教育部会)からそれぞれ令和元年度事業報告および、事務局から令和元年度収支決算の報告が行われ、質疑応答の後、原案どおり承認されました。

第2号議案:令和2年度事業計画および収支予算の件

事務局、総務企画委員会、広報研修委員会、対外部局(公共部会、教育部会)からそれぞれ令和2年度事業計画および、事務局から令和2年度収支予算の説明が行われ、質疑応答の後、原案どおり承認されました。

第3号議案:役員改選の件

事務局から定款25条により、理事10名、監事3名が本定時総会で任期満了になる旨の説明が行われました。ついては、次期役員を定款22条により本定時総会において選任する必要があり、推薦等をお願いしたところ、特に意見がなく、事務局より次期役員案の提示がされました。

議長が事務局案の賛否を諮ったところ全員異議なく承認され、理事10名(再任8名、新任2名)、監事3名(再任3名)が選出されました。第3号議案終了後、別室で会長、副会長を選任するための理事会が開催され、会長を久永忠範理事(新任)、副会長を松田浩一理事(再任)、竹内勝幸理事(新任)に決定したことを議場に報告しました。

本年度は、コロナウィルス感染拡大防止のためご来賓の出席をご遠慮いただき会員には委任状参加を推奨し、講演会、懇親会は省略して開催いたしました。



新会長就任あいさつ

令和2年5月の総会にて会長に就任いたしました。

76社の会員企業ならびに関係諸団体の皆様方におきましては、これまでの協会活動にご協力いただき誠に有難うございます。

会員企業も当初のソフトウェア開発、WEB制作、ネットワーク構築、プロバイダー、ハードウェア販売等のIT企業だけでなく、近年では通信キャリア、印刷、金融、教育機関、NPO、コンサルティング等、様々な業種業態の企業、団体、個人事業主の方々にご入会いただき、協会活動も多岐に展開してきています。

ICTを基盤とする、IoT、AI、DX、クラウド、SNS、スマートデバイス等と新たな言葉や技術が台頭してきて、あらゆる分野でこれらが利活用され、さらに発展を遂げている時代になってきています。ICTの活用が、社会生活に欠かせない現在においては、鹿児島県の地域産業もあらゆる分野でこれらの技術を取り入れ、KISA会員企業の活躍において、需要創出が行われています。

今後のあらゆる技術の進展や新たなビジネスの創出が行われる情報化社会を鑑み、一企業、団体、個人では賅いきれない会員企業のネットワークや技術を活かし、鹿児島県の発展、成長につながる、協会の活動に取り組んでまいります。

今後とも、会員の皆様はじめ、関係各位のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社フォーエバー
代表取締役
久永 忠範

新副会長就任あいさつ

この度KISA副会長を拝命しました、株式会社シナプスの竹内勝幸と申します。

新型コロナウイルスの禍は、世界・日本、そして私たちの地元・鹿児島においても、大きな変革を迫っています。私たちの生活・社会そして経済が、どのような変貌を遂げるのかは、まだまだ想像が付きません。しかしどんな状況であっても必ず求められるもの、それはICTの技術だと確信しております。それもクラウド・AI・IoT・5Gなどの、無機質な専門用語に先行される単なる技術ではなく、そのICTは、誰をどのようにハッピーにするのか?が明確な、温かみのあるICTの使いこなしが必須となります。

そのような時代を前提とするとき、鹿児島という地域に根ざしたICT企業の集団であるKISAの使命は、より大きなものであると思います。私たちKISAが、新しい時代の鹿児島の一助となり、また業界・会員の伸長につながるよう、微力ではございますが尽力したいと考えております。どうぞ今後とも、よろしくお願い致します。



株式会社シナプス
代表取締役社長
竹内 勝幸

新任理事就任あいさつ

この度、新たにKISA理事を拜命したMIC南日本情報処理センターの中村でございます。

新型コロナウイルスの奇禍は、心身の健康だけでなく社会の健康も害しました。この災難を奇貨としてリモートワークが進展し、デジタル変革を後押しする形となりました。企業活動や働き方も変えていくことになり、DXが一気に加速するだろうといわれています。また今年には次世代通信規格「5G」普及の元年とされ、人工知能「AI」の伸張も合わせて新型コロナウイルスとの共存を見据えた時、社会の大きな転換期となることも想像に難くありません。

こうした中、KISAの役割は地域における情報サービス産業の基盤整備を軸に、業界の潮流変化に合わせて、IT技術の研究開発や人材育成等に知恵を出し合う場には変わりはないと考えています。こうした時こそ、この“場”を拠り所に会員の皆様と手を携えて会員各社と地域経済の発展に寄与できればと思っております。皆様どうぞよろしくお願いいたします。



株式会社南日本情報処理センター
専務取締役
中村 洋

この度、KISA理事の大任を拜命しました、パステムソリューションズ株式会社の吉留久隆と申します。

皆様ご存じかと思いますが、日本のIT産業の総売り上げの約7割強は関東圏に集中しており、鹿児島は0.2%に過ぎないとのデータがあります。合わせて、IT関連の事業所数の約4割が関東圏で事業活動し、従業者数も約6割が就業しているとのデータもあります。改めて関東圏が経済活動の中心であり、IT関連企業の手を合せて企業も集中していることがわかります。

このような産業構造の中、鹿児島を含め地方のIT企業の収益は、首都圏のメーカーや大手SIerへの依存比率が大きく、いわゆるITゼネコンと言われるピラミッド構造の最下層に位置づけされているのが現状かと思えます。そのような中、春先からの新型コロナウイルスの感染拡大により、IT業界も直接的、間接的に影響を受け、これから先を案じている企業も多い事かと思えます。

一方、アフターコロナ時代に求められる“ニューノーマル”と言う考え方は、我々IT業界においては大きな機会であり、また今年には5G元年と言うことも併せて考えると、これまでの地方のIT企業におけるディスアドバンテージを払拭できるチャンスと捉えることができます。

この機会をKISAとしてどのように取り組むことができるのか、また、会員企業の皆様の発展にどのように繋げることができるのか、微力ではございますが尽力したいと考えております。どうぞ今後とも宜しくお願い致します。



パステムソリューションズ株式会社
代表取締役社長
吉留 久隆

IoT・AI等高度技術者育成支援事業のお知らせ

「令和2年度IoT・AI等高度技術者育成支援事業」の開始

今年度も従業員のスキルアップにより県内のIT企業を支援する目的で「IoT・AI等高度技術者育成支援事業」を鹿児島県から受託しました。

本事業では県内のIT関連企業の技術者を対象に、近年必要とされているIoTやAIなどの技術・サービスを理解するための次世代IT技術者の養成講座と、IoT・AIプロジェクトに携わる技術者のためのプロジェクトにおける協業の必要性を理解する実践的な講座の2講座を開催します。これにより次世代のための技術者養成及び新たな事業展開を実践できる人材育成を支援し、県内の情報通信産業の振興を図ります。

IoT・AI等高度技術者育成支援事業

IoT・AI等高度技術者育成講座

受講者募集 受講料無料 テキスト無料配布

県内のIT関連企業の技術者を対象に、近年必要とされているIoTやAIなどの技術・サービスを理解するため、機械学習や深層学習の基本から開発までを体験できる初学者のための次世代IT技術者養成講座とIoTやAIに代表されるDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現するため、アジャイル開発を含む最新のプロジェクトマネジメント技法などを通して協業の重要性を理解する実践的な講座を開催することにより、次世代のための技術者養成及び新たな事業展開を実践できる人材育成を支援し、県内の情報通信産業の振興を図ります。

1 次世代IT人材育成講座

受講料 無料(テキスト含む)

定員 15名程度 ※応募者多数の場合は、抽選により締め切る場合があります。

講座会場 株式会社フォーエバー中央駅教室

受講回数 5回
令和2年11月～令和3年2月の
土曜日開催(10:00～17:00)

募集期間 令和2年9月23日(水)～10月30日(金)

2 協業プロジェクト創出講座

受講料 無料(テキスト含む)

定員 15名程度 ※応募者多数の場合は、抽選により締め切る場合があります。

講座会場 株式会社フォーエバー中央駅教室

受講回数 4回
令和3年1月～2月の
土曜日開催(10:30～17:00)

募集期間 令和2年9月23日(水)～11月30日(月)

お問合せ・お申込み先 上記2つの講座内容の詳細は裏面をご覧ください

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 (KISA) TEL 099-219-9088 (受付/平日10:00～17:00)
(IoT・AI等高度技術者育成支援事業委託先) FAX 099-219-9099 E-mail info@kisa.or.jp
〒892-0821 鹿児島市名山町9-15マークメイズン402号 詳しくはKISAのホームページをご覧ください KISA 検索

※IoT・AI等高度技術者育成支援事業は、鹿児島県から一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会が受託して実施する事業です。

1 次世代IT人材育成講座

内容
IoTやAIの技術を体験できる次世代IT人材育成講座
IoT、AI初学者を対象として、Python言語の使いから始めるIoT、AI技術の理解し、Pythonを用いたAIプロジェクトの実践とAIサービスが構築可能な人材を育成します。近年、非常に身近なIoT機器であるカメラを用いた画像認識プログラミングの知識と、それをAIに活用する方法について学びます。更にグループワークを通して具体的なビッグデータ処理へと応用可能な技術・ノウハウを習得します。

参加費
無料(会場までの交通費は各自負担)

対象
県内のIT関連企業に在籍しているプログラミング経験のある技術者等
(IoT・AIに関しては、初学者を対象としています。)

日程及び講座内容

第1回 令和2年11月14日(土)
・IoT・AIを取り巻く現状の理解
・機械学習の基本Pythonの基本

第2回 令和2年12月12日(土)
・深層学習の基本
・プログラミング
・顔認証と動作認識の画像処理

第3回 令和3年1月9日(土)
・カメラからの画像処理
・PythonによるAIサービス構築
・グループワーク(製作企画立案)

第4回 令和3年1月30日(土)
・画像認識サービスの開発方法
・グループワーク(分析と設計、実装)

第5回 令和3年2月27日(土)
・グループワーク(実装、発表)

※講座日程及び会場は変更になる場合がありますので、KISAホームページにて確認してください。

※コロナ感染状況により、一部オンライン開催に要する場合があります。なおオンライン開催の場合は、若干のカリキュラム変更を要する場合があります。

2 協業プロジェクト創出講座

内容
DXを実現する協業プロジェクト講座
座学とワークショップ(ディスカッション・疑似体験・IoT実践演習)を通して、DX(デジタルトランスフォーメーション)を実現するために必要な知識、スキルとマインドセットを体験し、DXを推進するためのプロジェクトマネジメント技法を習得します。

参加費
無料(会場までの交通費は各自負担)

対象
IoTやAIに代表されるDX(デジタルトランスフォーメーション)を実現するためのプロジェクトに携わるビジネスリーダーやプロジェクトマネージャを志す技術者、IT関連企業に在籍し、アジャイル開発を含む最新のプロジェクトマネジメント技法を学びたい技術者等

日程及び講座内容

第1回 令和3年1月16日(土)
・DX実現のために必要な知識、スキル及びマインドセット
・PMBOK(第6版)概要
・IoT実践予演習①:レゴSPIKE 演習概要説明

第2回 令和3年1月23日(土)
・手前プロジェクトマネジメントの進め方、代表的技法
・DX価値創造の代表的技法
・IoT実践予演習②

第3回 令和3年2月6日(土)
・アジャイル開発プロジェクトマネジメント(SCRUMの基本、代表的技法)
・IoT実践演習チームのビルディング、チーム設定
・SCRUMスプリント進捗の進め方

第4回 令和3年2月20日(土)
・IoT実践演習:プロジェクトの決定
・スプリント(IoT実践演習) #1.プレゼンテーション
・スプリント(IoT実践演習) #2.レビュー

※講座日程及び会場は変更になる場合がありますので、KISAホームページにて確認してください。

※コロナ感染状況により、一部オンライン開催に要する場合があります。なおオンライン開催の場合は、若干のカリキュラム変更を要する場合があります。

講座会場 株式会社フォーエバー中央駅教室
鹿児島市中央町22-16アールプラザ2階

お問合せ・お申込み先

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 (KISA)
(IoT・AI等高度技術者育成支援事業委託先)
〒892-0821 鹿児島市名山町9-15マークメイズン402号

TEL 099-219-9088 (受付/平日10:00～17:00)
FAX 099-219-9099 E-mail info@kisa.or.jp
詳しくはKISAのホームページをご覧ください KISA 検索

「令和2年度KISA会員向け 新入社員研修」の開催

日時：令和2年4月3日(金)
13:00~17:00
場所：オンラインセミナー
講師：株式会社フォーエバー
参加者：5社29名

令和2年度に入社されました新入社員の皆様を対象に、総勢5社29名での新入社員研修を行いました。

新型コロナウイルスの蔓延が強く懸念される中、“3密”を避け、少しでも感染のリスクを回避出来るように、「オンラインセミナー」という新たな様式による研修となりました。

参加企業をオンライン会議用ツールで繋ぎ、講師からの説明やフィードバックをリモートで発信し、各拠点においては、グループワークやロールプレイも取り入れるなど、限られた状況の中でより多くの成果を得られるよう、協力し合って進めていきました。参加した新入社員の皆様も、この状況下で積極的に各テーマに取り組んで頂き、「Webを通してのセミナーでしたが、大変聞き取りやすく、分かりやすかったです。」「名刺交換の方法、マナーについてとても知識が深まった。」といった感想も頂くことが出来ました。

今年度も9月にフォローアップ研修を予定しております。未だコロナの影響は拭えませんが、適切なやり方で、新入社員の皆様により良い価値をご提供出来るように取り組んでまいります。

受講生の声

- ・自身のスキルアップにとっても参考になりました。
- ・非常に有意義でビジネスマナーの基本を学ぶことが出来ました。
- ・今後社会人として生活していく中で、重要になってくることを学ぶことが出来たのでよかったです。学んだことを活かし、がんばっていきたいと思います。
- ・社会人のマナーを授業のように学べることは今までなかったので、今日学んだことを社会で実践できるようにしたいです。



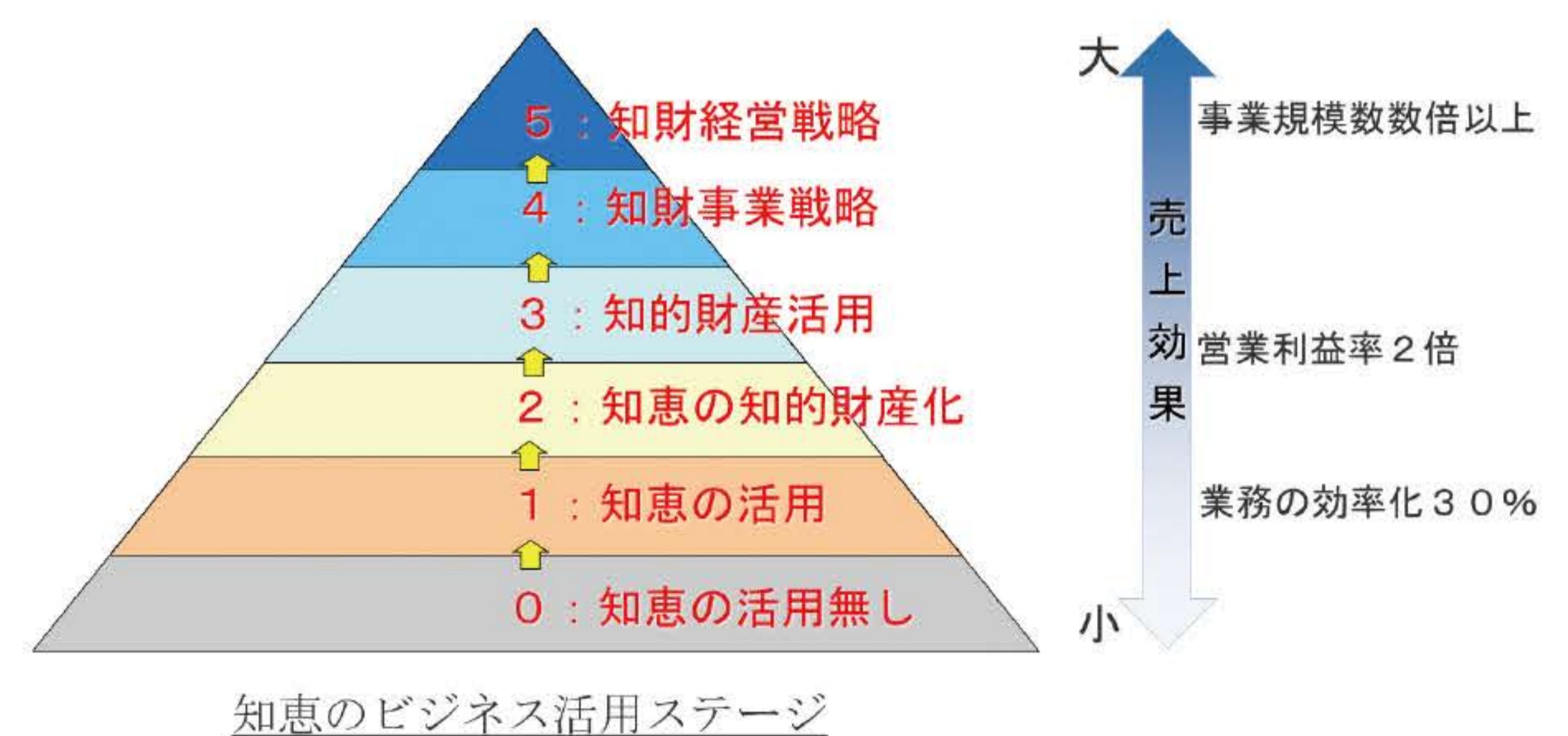
「知的財産権トラブルへの対応講座」 を開催いたします。

日時：令和2年11月26日(木)
場所：マークメイザン2F ユーティリティスタジオA
講師：ICTプロデュース 代表 上野 武志 様
参加者：16名程度を予定

“知らなかった”では済まされない、知的財産権のトラブル対応の他、マネージャーとして知っておくべき知的財産の活用方法や、経営者として知っておくべき知的財産の活用方法を、最近話題のIPランドスケープやオープン/クローズ戦略、ビジネス関連特許等の事例を交えてご紹介します。

また、生産性向上につなげるための知恵の出し方や、知恵を財産にする方法についてもご紹介します。

※生産性向上支援訓練の「知的財産権トラブルへの対応講座」では、事前に知的財産権に対する周知度や取り組み度についてアンケートさせて頂き、アンケート結果によって、「知的財産権の基礎」についてもご説明しますので、お気軽にご参加下さい。



知恵のビジネス活用ステージ

貴社の「知恵のビジネス活用ステージ」はどこですか？

【広報研修委員会】の紹介

委員長
富士ゼロックス鹿児島株式会社 内村 剛
副委員長
株式会社シナプス 今門 克行
株式会社フォーエバー 東 慎一
株式会社富士通鹿児島インフォネット 板山 守明(新任)

今年度より新たに広報研修委員会の委員長を務めることになりました、富士ゼロックス鹿児島株式会社の内村剛です。

KISAにおける広報研修委員会の役割は、このコロナ禍の中で、KISAの会員企業の活動や実績を県内外に広くお知らせし、会員企業のさらなる活動の場を広げること、さらには会員企業のために、先進技術や人材育成のためのセミナーを実施することで会員企業様の能力をさらに高めることだと認識しております。

広報研修委員会の活動が、会員企業様皆さまの発展にお役に立つよう取り組んで参りますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。



内村 剛

令和2年度 KISA 介護セミナー

日 時：令和2年8月7日(金)
16:20~17:20
場 所：マークメイザン ユーティリティスタジオA&B
参加者：11社17名

総務企画委員会では福利厚生サービス向上の一環といたしまして、毎年メンタルヘルスセミナーを開催しておりますが、本年は『人生100年』というキーワードをもとに、長生きすることによるリスクとそれに備える保険等について考える機会を設けたいと考えセミナーを企画いたしました。本セミナーでは、SOMPOひまわり生命福岡LC(ライフカウンセラ)の松元様を講師に迎え、「100歳時代に備える介護セミナー」と題し実施していただき、11社17名の方々に参加して頂きました。

現在の日本は高齢者人口が増え現役世代が多くの高齢者を支えていく社会が予測されているため、しっかりと準備していく必要があることを再認識できたのではないのでしょうか。また、参加者個人だけではなく会社としても従業員が介護離職することで労働力低下となるリスクを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

今回はコロナ感染症の拡大・収束状況が見えない時期であったため、例年セミナー後に実施していたスタッフ部門交流会は中止とさせていただきます。



令和2年度 KISA親睦ゴルフコンペ

日 時：令和2年9月12日(土)
場 所：知覧カントリークラブ
参加者：24団体46名(23チーム)



総務企画委員会ではコロナに負けじと感染症対策を考慮しながら、毎年恒例の会員相互の親睦を目的としたゴルフコンペを知覧カントリークラブで開催しました。例年通り若手参加のチーム戦形式を取入れ、24団体46名(23チーム)に参加して頂きました。OUT/INの6組/6組に別れてスタートする形式としました。今回は台風後の微妙な天候が危惧されましたが、何とか天候も落ち着き、熱中症も気にならないプレイしやすい程の気候となり、参加者も物理的な距離を保ちながら親睦を深め楽しむことができ大変記憶に残るコンペとなりました。

今回はコロナ感染症対策として開会式をWEB形式の動画配信で実施、プレイ終了後の表彰式も行わず後日成績発表をWEB配信と致しました。ちょっぴり寂しい気もしましたが…

総務企画委員会では、引き続きコロナと闘いながら様々なイベントを企画実施し、来年度もチーム戦形式のゴルフコンペを計画したいと考えています。今後とも会員皆様のご協力とご参加をお待ちしております。結果は以下のとおりです。



【結果(敬称略)】

- 個人戦順位 優勝 淵田 孝康(NET: 70.4) NPO鹿児島インファーマーシオン
- 準優勝 木迫 寛(NET: 71.4) 南国システムサービス(株)
- 第3位 榎田 洋一(NET: 72.6) (株)コンサル41

■チーム戦順位(氏名は50音順)

- 優勝 ぶっちもりinファー! 淵田 孝康/森 邦彦(NET:145.4) NPO鹿児島インファーマーシオン
- 準優勝 るまーだ 須川 輝久/林 聡志(NET:150.0) (株)日立製作所/(株)九州日立システムズ
- 第3位 ユニバーサル 谷川 慎一/出口 博吏(NET:150.4) ユニバーサルソフト(株)

■ベストグロ賞 新 政行(GROSS:80) (株)スマートエンジニアリング

協賛企業一覧(知覧カントリークラブ以外は50音順) 今回は多くの協賛をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社ARS	株式会社インターネットイニシアティブ	株式会社インパクト	株式会社九州日立システムズ
株式会社ケイシー・エス	株式会社スマートエンジニアリング	株式会社ソフト流通センター	ダイワボウ情報システム株式会社
東京コンピュータシステム株式会社	南国システムサービス株式会社	パステムソリューションズ株式会社	株式会社日立製作所
株式会社フォーエバー	富士ゼロックス鹿児島株式会社	株式会社富士通鹿児島インフォネット	株式会社南日本情報処理センター
株式会社ユニバーサルソフト	株式会社リコージャパン	知覧カントリークラブ	

【総務企画委員会】の紹介

委員長 株式会社システムフォレスト 田中 健太
副委員長 南国システムサービス株式会社 郷原 知展
ユニバーサルソフト株式会社 塩屋恵太郎(兼)



田中 健太

昨年度に引き続き総務企画委員長を務めさせていただいております(株)システムフォレストの田中です。今年度は皆様ご存じのとおりコロナウィルスの影響で生活・働き方までも変化を求められる中、日ごろ総務企画委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。このような状況の中、各イベントにつきまして例年通りの開催が難しい状況ではございますが会員企業様に貢献できるよう委員会の中で代替イベントなど慎重に協議を進めさせていただいております。各イベントにつきましては年々少しでもバージョンアップすることを目標としており、昨年度は「会員企業親睦パーティ」の内容に「謎解き脱出ゲーム」の要素を加えたり、今年度は(※コロナの影響で計画変更となる見込みですが)「家族参加型果実狩り」を刷新して「親子ピザ作り体験」を計画しておりました。今後も皆様に喜んでいただけるようなイベント企画を行いますのでご参加いただけますと幸いです。

また自社の任務を遂行しつつ時間と労力を費やし委員会活動にご協力いただいております総務企画委員会の方々にこの場をかりて感謝申し上げます。今後も本県の情報サービス産業、並びに会員企業の皆様の発展に少しでもお役に立てますよう取り組む所存ですので皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公共部会活動報告

昨年度に引き続き、公共部会部会長を務めることになりました、株式会社富士通鹿児島インフォネットの松田浩一でございます。公共部会では昨年度より①ICTによる鹿児島県の発展に寄与②会員企業のビジネス創出③KISAのプレゼンス向上、の3点を目的に掲げて活動を進めております。鹿児島県内の各自治体様との連携を深め、ICTに関する情報提供や地域課題の解決提案などを通じて鹿児島県の発展に寄与できればと考えております。

何卒、引き続きよろしくお願い致します。



代表 松田 浩一

教育部会活動報告

この度、久永・現KISA会長の後任として、教育部会部会長を拝命しました、株式会社シナプスの竹内勝幸と申します。7月のニュースになりますが、「グローバル拠点都市」を指定し、日本版シリコンバレーを目指すベンチャー育成拠点を創出するという政策が報道されました。残念ながら鹿児島はその指定は受けませんでした。だからこそ、鹿児島地元の企業自らの努力を前提としつつ、産学の連携強化を通じた新たな事業創出の挑戦が必要であると痛感します。KISA教育部会がその一助となれるよう、微力ではございますが尽力してまいります。



代表 竹内 勝幸

表紙フォトコンテスト入賞者 表彰

KISA REPORT Vol.35の表紙フォトコンテストに会員企業のみならず多数応募いただき、ありがとうございました。

今回は、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、打倒新型コロナウイルスの思いを込めて「コロナに負けるなーがんばろう鹿児島ー」をテーマにフォトコンテストを実施いたしました。

広報研修委員会にて、構図やテーマとの整合性を評価基準に、ご応募いただいた多数の作品の中から最優秀賞1点、優秀賞1点、入選2点の合計4作品を選ばせていただきました。

また、9月23日には入賞者4名にお越しいただき、表彰式を行いました。表彰式では、久永会長より賞状ならびに副賞が手渡されました。



写真前列左より

- [入 選] 瀬川 紗由里さん (ダイワボウ情報システム株式会社)
- [優 秀 賞] 木佐貫 剛さん (アジア印刷株式会社)
- 久永会長
- [最優秀賞] (代理出席) 橋口 和浩さん (リコージャパン株式会社)
- [入 選] 堂園 一広さん (南国システムサービス株式会社)

写真後列左より

- 五反理事、松元理事、上野監事、神園理事、竹内副会長、森監事
- 松田副会長、吉満理事、吉留理事、中村理事



最優秀賞

リコージャパン株式会社
高代 恭子さん

コロナの影響でいろんな大会が中止になり、目標をたてるのが難しい中、こまめな水分補給とソーシャルディスタンスを守り、いま出来ることに取り組んでいる仲間たちです。いつか開催される大会に向けて頑張っています。



優秀賞

アジア印刷株式会社
木佐貫 剛さん



入 選

ダイワボウ情報システム株式会社
瀬川 紗由里さん



入 選

南国システムサービス株式会社
堂園 一広さん

新入会員の紹介

初めまして 今年度より入会させていただきました中小企業診断士です。前職は富士通総研。SAP (FI/CO)などの有資格者として企画・構想からUIフェーズを担当していました。2年前に帰郷し、商工会議所の経営指導員を経て4月より独立・活動しています。

補助金は、IT企業にとって有効な顧客開拓ツールです。御社の商品・サービスをお客様に提案し、私が補助金申請の支援を行うスキームで鹿児島県の中小企業のIT経営に貢献できたらと考えています。よろしくお願いいたします。

株式会社コンサル41は、IT企業の営業支援、中小企業の組織運営支援、国家プロジェクト進行管理支援の3つを中心に事業を行っております。IT企業の営業支援につきましては、高い技術を持つIT企業様の外販支援、中小企業の組織運営につきましては、企業において次世代のMGR育成が重要と考えており、戦略立案・戦略実行・人事評価の各プロセスに焦点をおいてご支援させていただきます。国家プロジェクトにおきましては、農水省のスマート農業加速化実証プロジェクトや、総務省のローカル5G普及に係るプロジェクト支援を行っております。今年1月に設立したばかりですが、自社にできること、ニーズがあること、社会にお役に立てることを念頭に活動して参りますので何卒よろしくお願い致します。

当社は、鹿児島市に本社を置き、都市ガス・LNG卸供給をはじめ、太陽光発電、バイオ燃料等の次世代エネルギーを取り扱う「総合エネルギー事業」、リフォームや住宅設備のご提案を行なう「快適空間創造事業」、健康づくり等お客様の様々なニーズに積極的に対応する「総合生活提案事業」という3つの事業を掲げています。

その中のIT部門である情報通信グループでは、当社及びグループ会社の社内システム対応を行っております。この度KISAに入会させていただくことで、IT関連会社の皆様とお付き合いさせていただき、当社関連会社のニチガスアドバンスと連携し、地域貢献できるよう努めてまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社エヌ・ケイ・カスタマイズは、お客様が、より自然な形に業務にあったスタイルで「業務に出来る限りシステムを合わせる」事をモットーにオーダーメイドのシステム開発を行っております。お客様により、システムは一つとして同じものは無いという考え方のもと「ユーザ目線でのシステム開発」・「お客様にとってOnlyOneシステム」の構築するサービスを提供しております。

この度、地元「鹿児島」の発展に少しでも寄与したいとの思いから、KISAへ入会をさせて頂きました。

会員の皆様、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

当金庫は、相互扶助の精神に基づく共同組織金融機関として、県内42店舗を拠点とし地域活性化を図るため、地域貢献活動として7つの「かしんの杜」(経営・IT・教育・音楽・スポーツ・緑・その他)活動を行っております。その中でもITの社については、将来飛躍的に発展する分野として期待されており、当金庫のお客様がITを活用した経営革新を進めることで、企業業績を伸ばし、雇用の確保や地域経済活性化に貢献することを目指し創設され、また本年5月にインターネット支店も開設しました。

今後会員の皆様方のご指導をいただき各種支援策を実施していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

F-ITコンサルは、ITを通して新たなビジネスをお客様と共に切り開き、又、お客様に寄り添い、ITシステムをトータルにサポートする為にも、お客様の課題を理解し、ITを通して解決するという事を事業理念に掲げ、サービスのご提供をしております。このサービス提供には、地域の情報サービス産業企業様と強いパートナー関係を築いていくことが必要不可欠であると考えております。

ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



中筋マネジメントオフィス
<https://nakasuji-mgo.com>



株式会社コンサル41
代表取締役 榎田 洋一



日本ガス
<https://www.nihongas.co.jp/>



株式会社エヌ・ケイ・カスタマイズ
N·K·Customize

株式会社エヌ・ケイ・カスタマイズ
<https://nkcustomize.co.jp/>



鹿児島信用金庫
<http://kashin.co.jp/>



F-ITコンサル
代表 福重 康宏

退会企業情報

(正会員) (株)ヒイデル 令和2年4月17日

(正会員) (株)シティアスコム 令和2年5月14日

編集後記

今回のKISAレポートの表紙フォトコンテストは「コロナに負けるな・がんばろう鹿児島」というテーマで実施いたしました。今回の作品はまさに新型コロナウイルスに立ち向かって活動している様子が感じられる作品だと思います。新型コロナウイルスの流行によって、私たちの生活も新しい様式となり、このウイルスと共存して、事業活動を継続していかなければなりません。我々KISAの会員企業の持つICTの力で地域社会の経済活動が止まることなく継続していけるように貢献していくことが必要だと思います。

今回の発刊に関して、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

また次回もKISAレポートの発刊ならびにフォトコンテストへのご協力・ご応募のほどよろしくお願いいたします。

令和2年10月 広報研修委員長 内村 剛

